

看護師のワーク・ライフ・バランス実現に向けた看護師長のコンピテンシーに関する研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 小百合 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003350

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 12 号

看護師のワーク・ライフ・バランス実現に向けた看護師長のコンピテンシーに関する研究

(A study on the competency of the head nurses in realization of work-life balance among nurses)

鈴木 小百合 (すずき さゆり)

博士 (看護学)

論文内容の要旨

【目的】

看護師の WLB 実現に向けた看護師長のコンピテンシーを明らかにするとともに、看護師の WLB 実現に向けた看護師長のコンピテンシー評価尺度を作成し、信頼性と妥当性を検証する。

【方法】

コンピテンシーを明らかにするための前提となる研究として、看護管理者(看護師長、あるいはその役割を担う者)にインタビュー調査を行い、看護師の WLB 実現に向けた看護管理者の認識と実践を明らかにした。次に、インタビュー結果および文献検討に基づくコンピテンシーの構成概念の明確化、コンピテンシーを構成する質問項目の作成、質問項目と概念の合致と吟味を経て尺度を作成した。さらに、尺度の信頼性と妥当性を検討するために、看護師長を対象に質問紙調査を 2 回行った。

【結果・考察】

看護師の WLB 実現に向けた看護管理者の認識と実践として、【個々の状況の配慮につながるコミュニケーション】【個々の状況を配慮した対応】【個々のキャリア支援】【チームワークの醸成】【部署のマネジメント】【安心を生む存在であること】の 6 カテゴリーが生成された。また、看護師の WLB 実現に向けた看護師長のコンピテンシーとして、17 コンピテンシー『ビジョンの共有』『発信力』『リーダーシップ』『エンパワーメント』『相互理解』『課題認識アセスメント』『業務管理』『患者志向』『公平性』『関係構築力』『他者理解』『能力開発』『承認』『率先垂範』『セルフコントロール』『柔軟性』『自己確信』を導き、計 83 項目からなる尺度の原案を作成した。

最終的に【組織目標の明確化とキャリア支援】【ビジョンの共有】【個々の能力を活かした運営管理】【看護実践における問題解決行動】【WLB 支援制度の理解の推進】【休暇取得の透明性・公平性確保】【中間管理職としての責任ある行動】【対人関係構築の基盤となる柔軟性】からなる 8 因子 38 項目の尺度が構成された。尺度は、8 因子それぞれが直接的もしくは間接的に「看護師の WLB 実現」に寄与しながら、すべてが融合して成立していると考えられた。また、尺度全体および因子別の Cronbach の α 係数が 0.70 以上で、内的整合性が確保された尺度であると示された。

【結論】

8 因子 38 項目からなる「看護師の WLB 実現に向けた看護師長のコンピテンシー評価尺度」を作成した。

尺度は、内的整合性の確認および因子分析により信頼性と妥当性を検証できたが、尺度の実用化に向けて、基準関連妥当性を検証することが今後の課題である。